

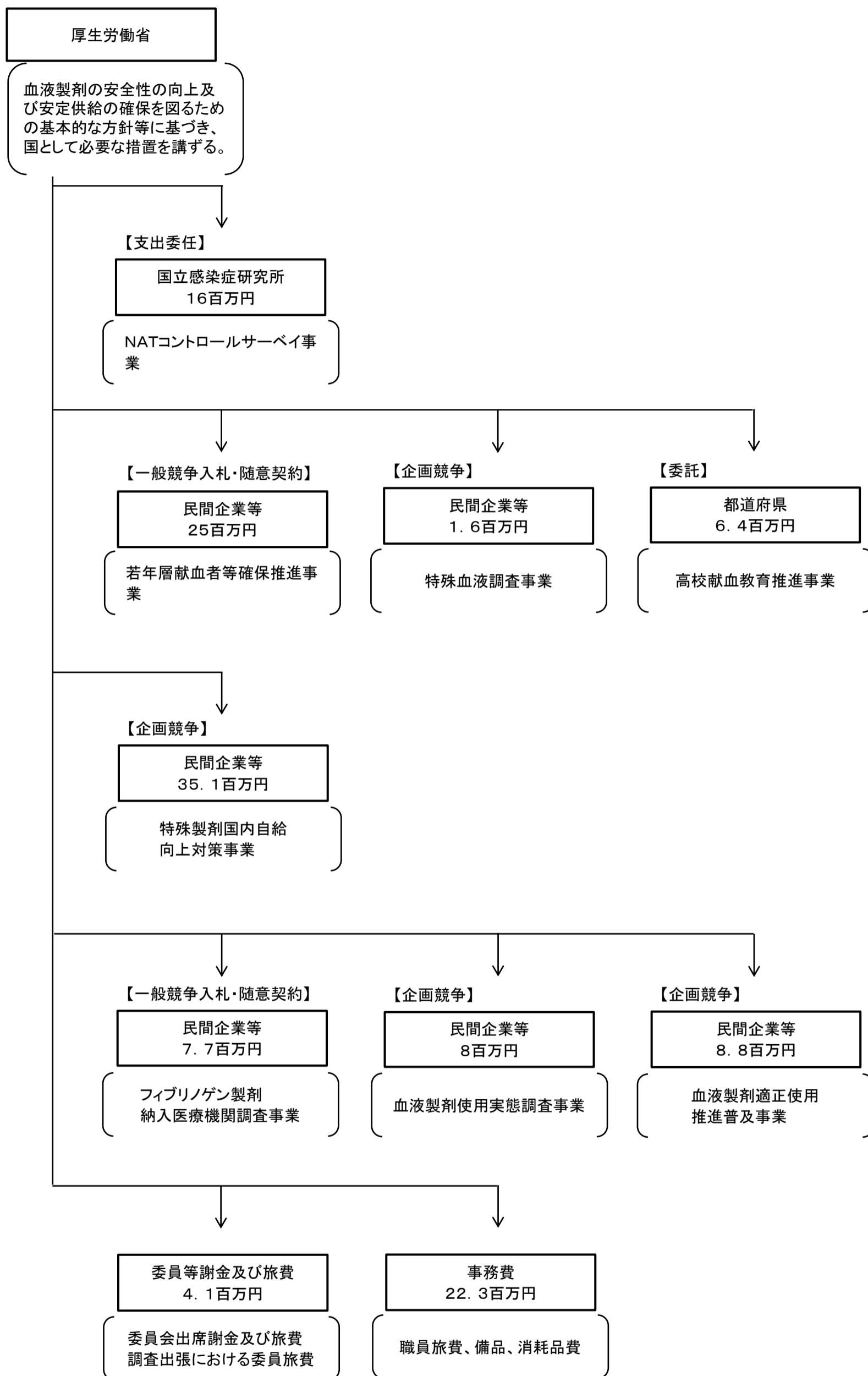
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	血液安全・安定供給等推進事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	血液対策課		課長 浅沼 一成	
会計区分	一般会計		政策・施策名	政策目標：安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策目標：I-7-1 健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成20年6月6日厚生労働省告示第326号) ・献血推進計画(平成23年3月23日厚生労働省告示第64号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	血液製剤の安全性の向上、献血によって得られた血液による国内自給の確保、血液製剤の安定供給の確保及び適正使用の推進を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	感染症の発生等を踏まえた血液製剤の安全体制の強化、献血に対する意識の向上や献血者が安心して献血できる環境の整備、血漿分画製剤の国内自給体制の整備、医療機関における血液製剤の使用実態の把握と適正使用に向けた体制整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				135	126
		繰越し等					
		計				135	126
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	毎年度、献血により確保すべき血液の目標量の90%以上	成果実績	万リットル	206	203	204	205
		達成度	%	113	109	98	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	毎年7月に実施される「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスターの配布	活動実績 (当初見込み)	枚	38,145 (36,140)	39,390 (39,390)	40,873 (40,873)	— (39,523)
		算出根拠		$((A)944,790 + (B)790,474 + (C)321,898) \div (D)40,873 = 50$ (A)=ポスターデザイン作成 (B)=印刷製本費 (C)=梱包・発送費 (D)=配布部数			
単位当たりコスト	平成24年度「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスターのデザイン作成から発送までのコスト(50円/枚)						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1.1	1.2	単価見直しによる増			
	職員旅費	6.2	6.2				
	委員等旅費	3	3.1	単価見直しによる増			
	医薬品審査等業務庁費	72.6	62.9	事業見直しによる減			
	医薬品等試験調査委託費	51.9	52.2	単価見直しによる増			
	計	134.8	125.6				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	医療に必要な血液製剤を確保するための体制確保等、血液法における国の責務に基づき、国が実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	血液法における国の責務に基づき、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	安全な血液製剤の供給は、国民の保健衛生の向上に重要であり、優先度の高い事業である。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—	—	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			—	—	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—	—	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—	—	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	—					
外部有識者の所見						
引き続き適正執行に努めること。「(長崎、井出)」						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本事業は、血液製剤の安定供給の確保及び適正使用の推進を図ることを目的とした事業であり、広く国民のニーズがあり、優先度が高く、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	—					
備考						
<p>・平成24年6月21日に開催された厚生労働省行政事業レビュー公開プロセスにおいて「廃止」と判定された「血液製剤対策事業」(事業番号170)について、公開プロセスにおける議論並びに血液法における国の責務を踏まえ、「血液製剤対策推進事業」(事業番号171)とともに事業の見直しを実施。 [コメントの結果]事業の廃止 [とりまとめコメント] 6名全員が見直しが不十分とのご判断。うち3名が「廃止」、2名が「抜本的改善が必要」、1名が「一部改善が必要」とのご判断。 集計結果を踏まえ、とりまとめとしては「廃止」とする。 一方、今日の議論の中でも、事業の必要性や見直しの余地等に関するご意見も頂いた。 血液法に国の責務が規定されていることも踏まえて、大臣始め他の政務とも相談して対応していきたい。</p> <p>・「成果目標及び成果実績(アウトカム)」欄、「活動指標及び活動実績(アウトプット)」欄の平成22年度から平成24年度欄及び「単位当たりコスト」欄は、過去の事業の実績(見直し後の継続事業)</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	227	平成23年	204	平成24年	171

※現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					